

# にし阿波・山のチキンファーム構想

## 目的

県西部の農林水産業において、養鶏業は地域を支える重要な産業である。将来にわたって持続可能な養鶏業の振興を図るため、地元民間企業、生産者団体を核に「にし阿波・山のチキンファーム構想・コンソーシアム」を設立し、次代の養鶏業を担う人材の育成・確保をはじめ、消費者のニーズにあった2次加工品開発や輸出も視野に入れた新たな販路開拓など、にし阿波地域における生産から販売まで一環したサプライチェーンの強化を総合的に取り組み、にし阿波地域の養鶏業の更なる発展を目指す

## 課題

### 【生産面】

- 生産者の高齢化、後継者不足による担い手の減少
- 施設及び設備の老朽化（鳥インフルエンザへの懸念）
- 小規模施設が多く作業効率が悪い
- 飼養管理の労働時間が負担、飼育技術の伝承が困難
- 飼料価格高騰など生産コストの増加、価格転嫁できない

### 【加工・販売面】

- 正肉販売だけでは価格の付加価値を高めるには困難
- 消費者に求められる加工品が少ない

## 課題解決に向けて

### 【生産面】

#### ■担い手対策

- 担い手の掘り起こし（就農者・移住者）
- 民間事業者における雇用就農による飼養技術研修体制の整備
- 研修・リース鶏舎の整備

#### ■既存施設の有効活用

- 継承が可能な鶏舎の把握のための施設調査、マッチングの体制の構築
- 老朽化施設、設備の修繕

#### ■スマート技術による作業の省力化

- スマート機器等の導入による作業負担の軽減、飼育成績の向上
- 蓄積データの活用による技術継承の促進

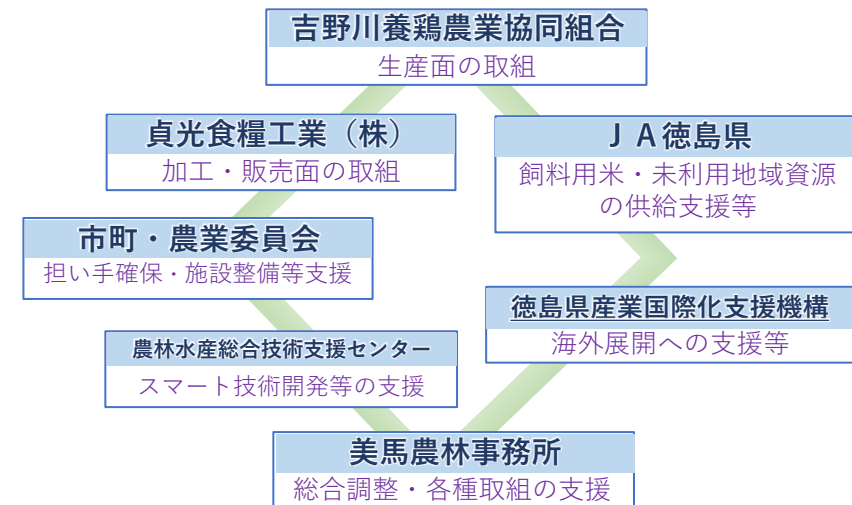
#### ■飼料用米・未利用地域資源の利用拡大

### 【加工・販売面】

#### ■加工品等の開発による付加価値の向上

#### ■海外への販路開拓の検討

## 【コンソーシアムの構成員】



## 目指すべき姿

- 新たな担い手が安心して新規参入できる環境が整い にし阿波の養鶏業における担い手が育成・確保される
- 2次加工品の商品が充実され、海外を含めた販路を展開し、地域一体となったサプライチェーンが強化される

持続可能な養鶏業の発展

